令和4(2022)年度 ウィークエンド青少年セミナー①実施報告

実施日：令和４年９月 24 日（土）

本セミナーは、次代を担う青少年がボランティア活動や地域活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な学びをとおし、活動の企画・運営などの実践力を身に付けることをねらいとし、９～12 月に全５回の内容で実施します。第１回は栃木県総合教育センターで行われ、計 34 名が参加してスタートしました。

説明「ウィークエンド青少年セミナーについて」

総合教育センター職員

当セミナーのねらいとスケジュールを全体で確認し、総合教育センターで行う公開講座「学びの杜の冬休み」にて、グループで考えた講座を行うことについて説明しました。

また、５日間活動をともにするグループのメンバーと自己紹介を含めたアイスブレイクを行いました。はじめは緊張気味であった参加者も和やかな雰囲気で活動を行うことができました。

講話「ボランティア活動について」

一般社団法人えんがお代表理事　濱野　将行　氏

濱野氏が学生時代に行った東日本大震災のときのボランティア活動やカンボジア、フィリピンでのボランティア活動の経験についてお話しくださいました。また、「行動からやりたいことを見つける」、「自分でできること、やりたいことをする。それで喜んでもらえるとうれしい」など、これからボランティア活動を行う参加者にとって意欲が高まるお話でした。

講話・演習「ボランティア活動について話し合い、気づきを得よう」

宇都宮大学地域デザイン科学部　准教授　若園　雄志郎　氏

若園氏からボランティアの定義および若者によるボランティア活動の実例について紹介がありました。また、「社会教育」についての説明の中で「社会教育とは自分を高めていこうとする『自己教育』と、みんなで幸せを目指して学び合う『相互教育』という二つの側面がある」「暮らしや地域の課題（困りごと）を、人々が学び合うことを通じて解決していこうとするものである」との話があり、これから活動をするにあたり、ボランティア活動および社会教育について知識を深めることができました。

＊受講者の感想より＊

〇ボランティアの現状や事例について学べた。今後の活動の参考にしようと思う。

〇自分が幸せじゃないと他の人を幸せにするのは難しいと知った。また、人のために何かをし、その人が幸せになってくれると自分も幸せになるということを学んだ。

〇本当に貴重な体験と時間だった。今までに参加してきた講話の中で、ダントツに心に響いた。自分から行動してみようと思えて、将来に対しての意欲がわいた。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206　　e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp